

平成 22 年度活動計画

藤井寺市は大阪府下で最も狭い市である。しかしそこには旧石器時代から古墳時代、中世、近世に至る遺跡が数多く横たわる。隣接した地域を含め、お客様の興味に応じたガイドコースが組める魅力を秘めている。

そこで、当会の今年度の活動は以下に注力し、これらの活動を通して藤井寺市の魅力を市内外の方々に広く紹介したい。

- ① 単に藤井寺市の魅力を紹介するに留まらず、それにプラスαをした一味違うより魅力的なガイドを試み、市活性化の一助としたい。
- ② 古市古墳群の世界遺産登録への推進運動が展開されている中で、当会も息の長い草の根活動を進めていきたい。
- ③ そのために、会員個々の知識をより深めると共に、観光協会や市の関係部署などとの協力、連携を図り、関係グループとの交流を更に進める。
- ④ また、これらの活動をより大きく展開するため広報活動に注力する。 (事務局 岩崎)

道明寺天満宮 梅まつり

当会では、年間行事計画の一つとして、今年も道明寺天満宮の「梅まつり」の期間中、2月7日から28日までの間、境内にガイドブースを設け、天満宮縁起ガイドちらし、市内観光マップ、古市古墳群マップなどを配布して、また古墳写真パネルを掲出して、天満宮やゆかりの地、世界遺産登録を目指す古市古墳群の紹介などを行いました。

期間中は好天に恵まれ、地元の方々をはじめ、他府県からお越しの方々にも「おもてなしの心」でガイドをしました。

その中でも、今年のメインイベントとして、天満宮ご参拝の方に「梅」を題材にした俳句を詠んでいただく「奉納投句」を催しました。昨年は会員限定の試みでしたが、今年は天満宮のご協力をいただき、梅まつり終了後、宮司さん、禰宜さん、俳誌同人の当会会員が中心となって「梅賞」「松賞」「竹賞」などの優秀作、佳作を選考し、後日、天満宮のご好意によるゆかりの品々を贈らせていただきました。

今後も天満宮梅まつりに伴う恒例奉納行事として定着させたいと思います。 (ゆう)



観梅、河内の歴史・酒蔵ウォーク (平成 22 年 2 月 23 日)



道明寺天満宮境内の受付には既に開始より 30 分経つのに長蛇の列。

例年好評の春季近鉄ウォークであるが、資料予定の 300 枚は遙かに突破し、急ぎ資料の追加コピーを 160 枚更に 50 枚・・・と大慌て。結局 550 名の参加者が暖かい好天に恵まれ、梅のかおりと早咲きの桜を楽しみながら、菅田八幡宮、白鳥陵、峰塚公園、野中寺、シュラホール、そしてお目当ての藤本酒蔵の利き酒へ約 9 キロを延々と闊歩。利き酒といえば今朝絞ったばかりのピカピカの新酒に歓声があがる！

この参加者数は過去を大幅に越える数で定点ガイドは声を嗄らし、誘導ガイドは顔を陽に焼かれながらも全員が満足感とよるこびに溢れる一日でありました。 (小野常芳)

第 2 回 桜・ウォーク&コンサート (平成 22 年 4 月 4 日)

この企画は、古市古墳群がある羽曳野市のフィールドミュージアムトーク史遊会と当会が協働し、楽しいイベントとして立ち上げました。

はだ寒い日が続き、心配された天候も、当日はすっきり晴れ、桜も一番の見ごろに「よかった」「よかった」と胸をなでおろしましたが、まだ二回目で認知されていないせいか参加人数は 50 名程度と少なめでした。

しかし満開の桜と古墳、俳句作り、NICE! 藤井寺バンド、シュラレディーズの方と一緒に歌ったこと、最後は当会会長秘蔵のアンティークオルゴールコンサートと盛りだくさんの催しに、皆様には楽しんでいただけたと確信しております。

今回は、もっと多くの方々に参加してもらえよう工夫し、3 回、4 回と続けていけたらと思います。

(大久保)



平城遷都 1300 年記念イベント 大阪・奈良歴史街道! レーウォーク完結式

風薫る、さわやかな 5 月 1 日、遷都 1300 年を迎えた奈良平城京大極殿前庭にて歴史ウォークの完結式がとりおこなわれました。井真成君を先頭に、それぞれ天平衣装を身につけた私達は回りの多くの人の人たちの視線を心地よく感じながら、青葉の間を晴れ晴れとそして堂々と大極殿へと進みました。



添上高校の吹奏学部の元気な演奏ではじまった完結式。思えば 2007 年 9 月 24 日大阪難波宮での出発式から約 3 年、ここまでよくがんばってこられたのは、みなさんの結集力の賜物だとつくづく思いました。勇気もいっぱいもらいました。

さあ 今度は今秋から新たにはじまる、第 2 次大阪・奈良歴史街道! レーウォーク「遣唐使の道」に船出していきましょう。 (芳尾)

古市古墳群ウォーク&クリーン (平成 22 年 3 月 20 日)

古墳を清掃しよう。どうすれば私たちの快適な環境に資することができるのか・・・その一歩として“ウォーク&クリーン”が羽曳野・藤井寺両市の文化遺産推進協議会で催され、参加人員 130 名前後のメンバーは子供から年輩者まで幅広い層でした。羽曳野市役所前を午前 9 時半に出発して事務局から支給された手袋、ゴミハサミ、ビニール袋を手に冷たい北風に向かって応神陵古墳の外濠へと向かった。周辺のゴミの多さに只々びっくりでした。ポイ捨て家電、空き缶等多種でこれくらいと暗愚の気で捨てたものが、なんと小型トラックに 2 台分です。

文化遺産の保存は一人一人の自覚というか道徳心にあると、目の当たりに見て今更ながらの教訓になりました。ウォークは両市の職員の方の学術的又歴史的背景を主とした充実した案内にいろいろ勉強になりました。特に「二ツ塚、栗塚古墳は菅田御廟山古墳より先に築造されたが、いろいろ関係が想定される」という話を聞き両古墳の関係するところを学ぶことができました。分かりやすいガイドとして学ぶところの多い有意義な時を過ごし、正午すぎ美しく清掃された古墳をあとに羽曳野市役所にゴール、さわやかな一日であった。

世界遺産の登録には清潔度が大事なことと伺っています。 (武藤孝三)